

こころベース通信

Vol.33

2025 年

11月 号

こころベース通信では、日々の活動や行事について紹介させていただいております。

☆☆☆かんでんコラボアートに応募☆☆☆

かんでんコラボアートは「障がい者がアートの創造を通じて自己表現をする喜びを感じる機会」を提供して25年の歴史あるアートイベントです。

今回、利用者みなで「グループ作品」を作りました。

タイトルは『ハロウィンの夜のお菓子屋さん』です。

10月中旬に第一次審査が行われますが結果はいかに？



↑みんなでワイワイ制作

←賑やかなハロウィンの夜。

▼△▼△▼絵本の朗読を始めました▼△▼△▼

紙芝居、ペープサート劇と『自己表現』の活動に取り組んできました。さらに絵本の朗読を始めました。支援員が用意した複数の絵本の中から利用者さんが選んだ本を、自分で朗読または支援員が朗読します。絵本の世界引き込まれて、自分に重ねて感極まって涙を流す利用者さんもありました。

今後は近隣の保育園の園児さん達をお招きして楽しんで頂くことを目標に練習を重ねてまいります。

☆☆☆☆☆余暇活動の『刺し子』☆☆☆☆☆

刺し子の練習を通して、利用者さんと支援員の間に温かな交流が生まれていました。最初は手探りでも少しずつ慣れてくると笑顔がこぼれ、楽しさが広がっていく様子が印象的でした。

手仕事の魅力と、共に過ごす時間の大切さが感じられるひとときでした。かわいいデザインに仕上がりました。



○●○●○大掃除を行いました○●○●○

床のワックスがけの定期清掃と、長年の汚れが蓄積していた非常階段の清掃を行いました。みんなで役割分担して助け合いながら清掃を行い、かつての美しさを取り戻しました。特に非常階段は見違えるように綺麗になりました。



Before



After

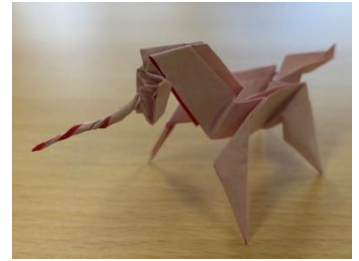
裏面もご覧ください

●●●●新たな利用者さんの作品●●●●●

10月から新しく参加された利用者さんの作品です。初めてとは思えないほど丁寧で、色使いや折り方に個性が光っています。

折り紙を通して、その方の感性や集中力が伝わってきて、見ているこちらまで嬉しくなりました。

これからの作品も楽しみです。



☆☆☆☆月見団子を作りました☆☆☆☆

中秋の名月から10日ほど過ぎましたが、利用者のみんなで『月見団子』をつくりました。白玉粉に豆腐を練り込んで、水で固さを調整。ひとりひとりが丁寧に生地を丸めて茹で上げて艶々の団子が出来上がりました。昼食のデザートと3時のお茶タイムにみんなでいただきました。出来上がったお団子をフライパンで焦げ目が少しく程度焼くとふんわりした食感に変わってとても美味しかったです。



丁寧にひとつずつ丸めて…



つやつやのお団子完成!!

☆☆☆☆秋の課外活動で京都へ☆☆☆☆

10月16日、秋の課外活動で、京セラ美術館にに行ってきました。『Hello Kitty展 ―わたしが変わるとキティも変わる』は、幅広い年齢層のキティファンが多数来場していて、とても賑やかでした。写真撮影スポットも用意されていて、利用者さんも記念撮影補楽しんでいました。時間に余裕があったので隣の動物園にも足をのばしてきました。ライオンやトラの姿が見えませんでした。職員さんによると、動物福祉の観点から新たに飼育することはしないのだそうです。



◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆

通勤で利用する地下鉄の駅が、植物園の入口に直結しております。ここ最近キンモクセイの香りが漂い始めました。この香りを嗅ぐと「秋が来たなあ」と実感します。皆さんは、どんな時に秋を実感なさいますか？年々短くなってきている快適な季節をしっかりと味わいたいものですね。それではまた次号で…。

